

第3回尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会の要旨

- 1 開催日時 : 平成 26 年 12 月 15 日 (月) 14:00 ~ 15:15
- 2 場 所 : 尾原ダム管理支所 (島根県雲南市木次町 211-5)
- 3 出席委員 : 速水雄一委員長、作野広和委員、勝部博委員、石原肇委員、田部英年委員、
勝田康則委員、三上康則委員、瀧本孝志委員、舩田直樹委員
- 4 議事次第
 - 1) 開会
 - 2) 挨拶 速水委員長
 - 3) 出席者紹介 勝田委員、舩田委員
 - 4) 議事
 - 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約の改正
 - 第 2 回委員会以降の取組経過の報告
 - 平成 26 年度のプロジェクトの実施状況
 - 平成 27 年度の実施プロジェクト (案)
 - 水源地域ビジョンの推進スケジュール (案)
 - 5) 閉会
- 5 配布資料
 - ・ 資料- 1 : 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約 (改訂案)
 - ・ 資料- 2 : 第 2 回委員会以降の取組経過の報告
 - ・ 資料- 3 : 平成 26 年度のプロジェクトの実施状況
 - ・ 資料- 4 : 平成 27 年度の実施プロジェクト (案)
 - ・ 資料- 5 : 水源地域ビジョンの推進スケジュール (案)
- 6 議事要旨
 - 1) 議事
 - 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約の改正
 - ・ 推進委員会規約の改正について、事務局より 3 点の改正箇所 (作野委員の役職、奥出雲町長及び出雲河川所長の就任) を説明し、資料-1 で承認された。
 - 第 2 回委員会以降の取組経過の報告
 - ・ 第 2 回委員会以降の取組経過の報告については、事務局より資料に沿って取組経過の報告を行い、資料-2 で承認された。
 - 平成 26 年度のプロジェクトの実施状況
 - ・ 平成 26 年度のプロジェクト実施状況については、事務局より資料及び参考資料に沿って実施概要等の説明を行い、資料-3 で承認された。
 - ・ 実施状況については数多く多彩な取組が概ね実施されており、評価に値する。
 - 平成 27 年度の実施プロジェクト (案)
 - ・ 平成 27 年度の実施プロジェクト (案) については、事務局より資料に沿って H27 年度の実施予定の説明を行い、資料—4 で承認された。
 - ・ 3 つの基本方針が掲げられているが、継続して活動を推進していくためには、基本方針 1 「水

源地域を結び、拓く」を充実していく必要があり、既存組織の連携強化や地域に根差した活動を推進していくことが、水源地域の持続的な発展につながる。

- ・推進にあたっては、各セクションにおいて体制を充実させていくこと、下流域への理解を得られるように努力していくことが必要である。
- ・「(1)-2 接客技術の向上」、「(1)-1 人材の発掘」については、既存組織同士が更なるつながりを深め、上流域が着実な活動を展開していくことが求められる。
- ・各組織においても接客技術の向上に向けた研修を実施しているため、水源地域全体として接客技術の向上に向けた意識を持つことが重要である。
- ・接客技術の向上の研修実施のみに捕らわれず、来訪者が「また来たい」と思えるように「おもてなしの心」を育んでいくことで、継続的な取組につながっていく。

水源地域ビジョンの推進スケジュール（案）

- ・水源地域ビジョンの推進スケジュール（案）については、事務局より資料に沿って今後のスケジュールの説明を行い、資料—5 で承認された。

その他

- ・事務局より写真コンテストのチラシが配布され、説明が行われた。
- ・雲南市より、競技施設に関する以下の情報提供が行われた。
 - ・平成 28 年の高校総体のボート競技会場となる。
 - ・そのプレ大会として、平成 27 年 5 月にマスタースレガッタ全国大会が 1,000 人規模で開催される。現在は日本ボート協会の HP で募集が始まっている。
 - ・トライアスロン協会より、平成 28 年に本大会を実施したいとの意向が示されている。

2) 今後の予定等

- ・規約に基づき、本日の審議要旨をとりまとめ、委員長の了承を得た上で、議事要旨と会議資料をホームページに公開する。

以 上